

第15回 開運！オリジナルだるまコンテスト

毎年恒例の毘沙門天大祭のだるま市は、残念ながらコロナウィルスの影響で中止となりましたが、白い鈴川だるまに思い思いに色付けし、工夫を凝らしたオリジナルだるまがたくさん集まりました。



2月10日には各所より審査員を迎えて、独創性やメッセージ性などを審査し、大賞を発表しました。

総数164点のうち、子どもの部は80点の応募があり、昨年より応募数も倍近くに増え、コミュニティの会場を賑わせています。

2月28日まで展示しますので、ぜひ力作をご覧ください！



- 大人の部大賞：小林 可奈さん(富士市)
- 子どもの部大賞：細野 紅葉さん 5才(富士宮市)

市民活動を応援するセンターの情報誌

富士市民活動センター コミュニティ f

2021.02.03 発行

コミュニティ f ニュース

第63号



編集・発行：富士市民活動センターコミュニティ f 富士市吉原 2-10-20 TEL.0545-57-1221 FAX.0545-57-1091 HP : http://www.com-f.net

★改めての！コロナ対策

- ・マスクは**必須**です！
 - ・手が荒れても、**手指の消毒**を忘れずに！
 - ・お食事の際は、**おしゃべりは控えめに**！（飲食はOKです）
 - ・当センターは、**飛沫感染予防**のため、常時窓を開けています。そのせいで、暖房していても寒ーいことが…（ノド）シクシク…
- 会議などご使用の際は、いっぱい着ぶくれてお越しくださいね。

休館日のお知らせ

2021
3月6日(土)

館内清掃のため、**休館とさせていただきます。**



富士市民活動センター コミュニティ f

富士市民活動センター

御相談や会議室のご予約など、お気軽にお問い合わせください

〒417-0051 静岡県富士市吉原 2-10-20 ラクロス 2F
TEL.0545-57-1221 / FAX.0545-57-1091

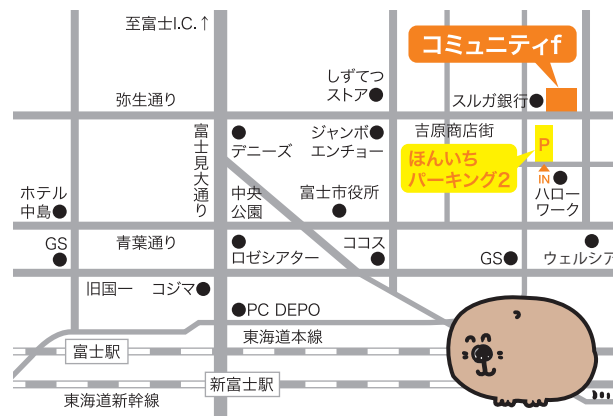
開館時間 月～土曜日 10:00～22:00 / 日曜・祝日 10:00～17:00

- HP <http://www.com-f.net>
- ブログ <http://blog.canpan.info/com-f>
- Facebook <http://www.facebook.com/comf.jp>
- E-mail info@com-f.net

指定駐車場は**2時間無料**
ほんいちパーキング2
※駐車券を受付までご持参ください

コミュニティ f 検索

富士市民活動センター コミュニティ f は、NPO法人 東海道・吉原宿が指定管理者として運営を行っています



開運！オリジナルだるまコンテスト

イベントレポート

- NPO プレゼント講座 2020
- 使ってみよう！やさしい日本語 国際交流ボランティア養成講座
- Zoom Boot Camp
- 第6期 FUJI 未来塾
- 富士市民活動センター SDGs ラボ 15周年記念講座
- 第15回オリジナルだるまコンテスト

みなさまのご参加ありがとうございます！

イベントレポート



11/28

(土)

1/16

(土)

(公財)静岡県労働者福祉基金協会

NPOプレゼント講座2020

プレゼント講座とは

<静岡ろうきん>からの配当金の一部を、県内の労働組合が「社会貢献のための寄付(拠出)」した資金を基に実施する講座です。



11月28日開催のNPOプレゼント講座2020「プレイスメイキングで考える公共空間活用法」では、講師の園田聡さんは、自身が市民活動として実践した小田原市における事例の他、行政が民間と連携しやすいようにルールや仕組みから見直し、民間や個人が良質なコンテンツを生み出すための土台づくりについて伝えました。地域の中には潜在的な魅力があり、それらを用いて地域のために取り組むためのプロセスが、人々の暮らしを豊かにするとまとめ、プレイスメイキングの必要性を強調しました。

また、1月16日開催の第2弾「オンパクがもたらした地域活性のかたち」では、講師の渡村マイさんが、全国各地に広がりを見せているオンパクという手法について藤枝での事例を交えて解説されました。そこでしか体験できない、様々な分野の地域体験プログラムを一定期間に開催することで、経済の活性化だけでなく、埋もれている地域資源や人材の発掘につながる効果もあり、来訪者のみならず、住民も地域の魅力を再発見できる手法であると述べられました。



使ってみよう！やさしい日本語 国際交流ボランティア養成講座

1/12~
(火)

富士市在住の外国人は総人口の約2%を占めています。多文化共生社会に向けやる気ある担い手を育成する講座として始まった国際交流ボランティア養成講座が今年も開催されました。やさしい日本語は、災害時だけでなく行政による様々な文書を定住外国人へ分かりやすく情報提供する手段として必要性が求められています。今回は3回連続講座で、日本語教師の白銀真由美先生を講師に招き、外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」をテーマにレクチャーして頂きました。第3回目は、やさしい日本語を使って外国人の方と話す実践編を行いました。



1/15~

(金)

ご要望に応じて第4弾!?

ZOOM BootCamp

WEB会議ツールとして導入がいつそう進んだZOOM。コミュニティfでも、利用団体の皆さまから開催してほしい講座として熱い要望も多く、今回は上級者向けとして開催しました。一通りZOOM会議を経験した方を対象とし、ホスト(会議を招集する人)としての使い方などを中心に、この人デキる(!?)と思われるような使い方のポイントを学びました。音声や画面をよりきれいに届けるためのポイントやセキュリティ等の安全面など、ホストならではの疑問点が寄せられ、WEB会議やオンラインイベントの満足度をより向上させる方法などを学ぶ勉強会となりました。

みなさまのご参加ありがとうございます！

イベントレポート



富士市民活動センター 15周年記念講座 富士SDGsラボ 開催



最優秀に選ばれた
チーム・fujicariの皆さん



2015年に国連が全会一致で採択した「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」について学ぶ講座として、昨年10月の第1回から始まった富士SDGsラボ。1月17日(土)、最終回となる第5回目「最終発表～わたしたちにできるSDGsアクション～」が開催されました。4つのチームに分かれてそれぞれSDGsの観点を取り入れた活動を企画、立案。各チームがプレゼンを審査委員長の小長井市長らに発表し、最優秀チームに「fu·ji·ca·ri(フジカリ)」が選ばれました。

フジカリが提案した、使われなくなった学用品や制服、教科書などを市内限定で譲り合うサービスは、教育の格差解消や入学準備時の経済的負担の軽減などの効果が高く評価されました。

この他のチームからも、SDGs達成に向けた様々なアイデアが紹介され、これまでの実践ゼミナールを通じて、持続可能な社会に向けて私たちがどう向き合うか、というSDGsの本質についての学びを深める講座となりました。

1/30

(土)

「市民活動のきっかけをつくる」実践講座

第6期FUJI未来塾 いよいよ公開プレゼンへ!

富士市主催の第6期FUJI未来塾が、9月の第1回講座を皮切りにスタートし、1月23日のプレゼンリハーサルを経て、1月30日、富士市消防庁舎を会場に公開プレゼンテーションが開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染対策を取りながらの開催ということもあり、集まりが制限されている中でしたが、参加した6チームのメンバーは、それぞれフィールドワークやトライアルを重ね、最終プレゼンに臨みました。公開プレゼンテーションでは、市民が悩む公共的課題の解決をすべく、富士市への思いが込められた魅力的な提案を発表していただきました。会場からは、各チームの企画に関する積極的な質問やアドバイスも寄せられ、有意義な発表の機会となりました。



写真提供：富士市民協働課